

# CANdbLib

## CANデータベースアクセス用プログラミングインターフェイス

分散ネットワーク環境下のECUは、ネットワークや相互通信の構造に基づいて開発されます。プロジェクトに際し、開発メンバーはCAN通信データをDBC形式で共有します。CANデータベースは、ほとんどすべての自動車メーカーで使用しています。

### 特徴/優位性

ベクターは、測定システムベンダーにCANデータベースを利用していただくために、DBCへのアクセス用ライブラリとしてCANdbLibを提供しています。CANdbLibは開発者向けのライセンスパッケージで、CANdbLibクラスライブラリ (DLL)、CANdbエディター、そして5ユーザー用ランタイムライセンスから構成されています。ライセンスパッケージは、お客様のご要望に応じて、追加提供することも可能です。

### 情報の定義

CANデータベースには、ネットワーク内の通信ノード、CANメッセージ、メッセージで送信されるシグナルとともに、シグナルの位置、シグナルのビット数、物理単位、変換式などネットワークに関連するすべてのデータが含まれています。

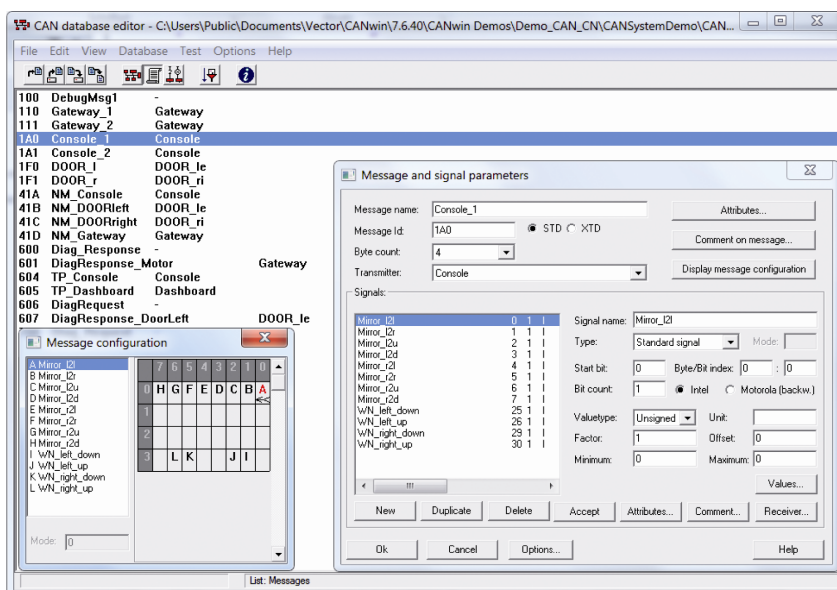
通常、CANデータベースの作成/修正には、ベクターのCANツールの付属コンポーネントであるCANdb++エディターが使用されています。

### 機能

CANdbLibには、C++クラスを使用してCANデータベースの情報を読み込み、ソフトウェアツールで使用できるという機能や、CANメッセージからシグナルを解釈して物理値に変換する機能を提供しています。また、測定シグナルをDBCファイルの記述に従って解析し、見やすく表示することができます。テスト用のデータベースは、CANdbエディターを使って短時間で作成することが可能です。

### 製品コンポーネント

- > CANdbエディター (Windows XP/Vista/Windows 7に対応)
- > Microsoft Visual C++ 8.0/9.0/10.0用クラスライブラリ (Windows XP/Vista/Windows 7に対応)
- > 5ユーザー用ランタイムライセンス



CANデータベースのデータを  
CANdbエディターで表示

※記述されている内容は予告無く変更されることがあります。(発行日：2012年2月22日)

ベクター・ジャパン株式会社 (東京本社) TEL: 03-5769-6980 (名古屋支社) TEL: 052-238-5020  
Email: sales@jp.vector.com URL: http://www.vector-japan.co.jp/